

## 認知症に関する活動計画（概要）

茨城県作業療法士会では、以下の活動計画を中心に活動を進めております。

- ①認知症の理解を深める活動
- ②他団体・行政棟の認知症関連事業への支援・協力
- ③VR・AR認知症体験ソフトの刷新（2023年度完成予定）



## 認知症の理解を深める活動

主たるツールとして士会独自のVR・AR認知症体験ソフトと、協会作成のDVD「二本の傘」の上映とを合わせて、認知症を知り・考える時間をマネジメントしております。

2017年から依頼元の各事業とコラボレーションさせて頂き継続的に体験会を開催してきました。今年度はCOVID-19が5類指定された事も合わさり、8月末時点で16件の依頼を受けております。依頼元は高齢者サロンなど地域団体、医療介護福祉専門職等の教育機関、道の駅等で開催されるフェスティバル内（多企業の一員としてブースを設置）など、多世代に渡り認知症の理解促進に取り組んでおります。



本活動は茨城新聞で紹介されるなど徐々に認知され、市町村を始めとし社会福祉協議会や地域包括支援センター、認知症地域支援推進員など連携の幅が広がってきました。昨今問われる「共生社会」および「認知症共生社会」の構築を目指す中で、作業療法士が認知症とともに暮らす方法を考えるパートナーになり得る事を、体験会を通して強く広く発信して参ります。

その為に多業種との連携を続け、医療介護福祉に拘らず幅広いネットワークの構築を実現出来る様、認知症支援推進委員会として邁進いたします。

## 認知症の人と家族の会との連携事業

COVID-19の影響もあり、対面での連携した取り組みは延期を余儀なくされております。その中で、茨城支部長が代替わりする等の変化がありましたが、可能な限りの連絡をとり、連携再開に向け議論を重ねます。

## COVID-19の影響・対応

VR・ARの体験会を主体とする事業であるが故、一定期間内の活動は停滞せざる得ない状況となりました。その時間を体験会のフィードバック等に充て、この度ソフトの刷新へ具体的に動き出しております。体験会の質と作業療法士の認知度の向上に向け、取り組みを継続して参ります。